

みんなちがって、みんないい



【意思決定と話会う】



こんにちは、管理者 藤崎です。

今年も桜は、本当に綺麗に咲き誇っていますね！

私は、桜を見ると、なんだか気持ちも晴れやかになり、勇気をもらいます。

皆様はいかがですか？

春といえば、どの人にとっても新たな出発があり、節目の時期ではないでしょうか？

「さあ、やってみよう！」「さあ、行ってみよう！」の気持ちにはなっても、いざとなると

「やらなければ…」「行かなければ…」になってしまいませんか？

気持ちは前に進み始めていても、いざ行動にうつすとなると、とても勇気のいることだと思います。

本当にこれで良いのだろうか？

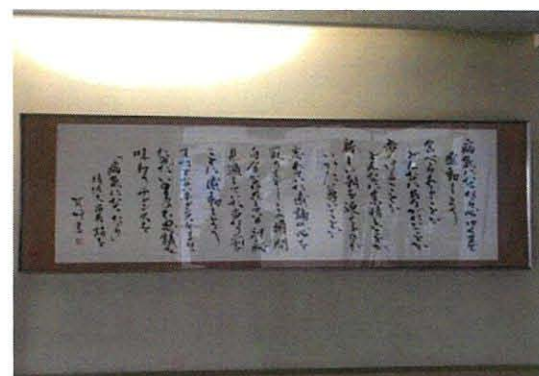
間違っていないのだろうか？

周りの人は、どうしているのだろうか？

やっぱり、時期早々かなあ？

もう少し様子を見ようかなあ？

色々思いますよね。私もその1人です。



在宅のケアをする時、される中で、とても大切なことがあります。

それは、**意思決定と話会う**ことです。

病院は、『治療する』という揺るぎない概念に沿って対応していきます。ですが在宅においては、

『自分がどうしたいか』が揺るぎない概念となります。

これって、あたり前だよって思うかもしれませんが、かなり難しい事です。

その人が、納得出来る、もしくは出来る方法での治療の継続や変更、中止を臨機応変に行っていきます。

自身の生活の生き方を見つめて、これからどう生きたいか？を自身の中で、問いかける。

そして、家族や大切な人と自分の思いを話会う。

必要であれば、介入医療者からの情報提供を行い、更に相談しあう、話会う。

貴方が選択したことをカタチにして行動していく。

この積み重ねが生き切るコツです。

意思決定は、その時の意思です。なので、今はこう思うので良いのです。

その時その時、変わってあたり前。

もちろん、戻ったり、全く違ったりしても良いのです。

ただ一つ思うのは、貴方が決めたことは、その時のベストな選択です。

安心して、家族や大切な人にその気持ちを是非、話してみてください。

きっと、気持ちを伝えてくれたことに、喜んでくれると思います。

だって、そばにいる人は、大切な人が考えたことを応援したくて

待っているのですから。

私達、医療者も貴方から相談してもらえるのであれば、思いへのお手伝いを精一杯したいのです。

忘れないでください。何よりあなたは、かけがえのない大切な人なのですから。

